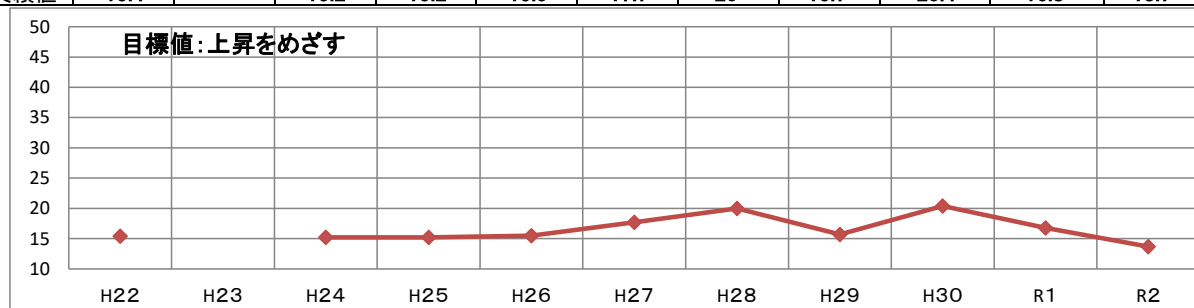


指標の進捗状況

1 住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していると回答した県民の割合

※平成23年度に関しては実績値なし

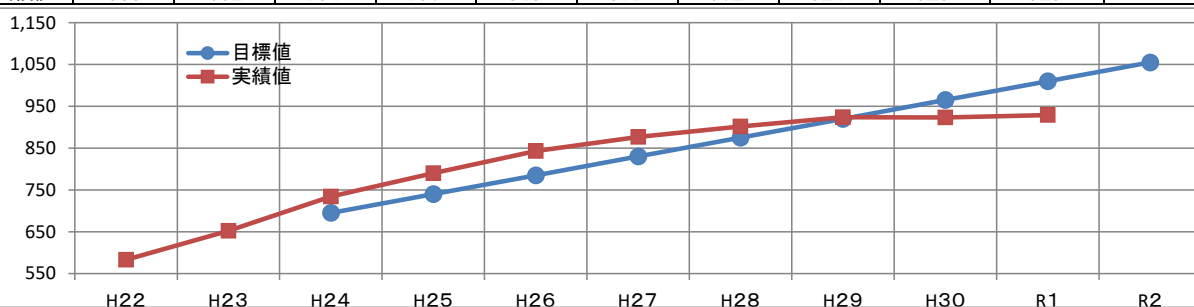
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
実績値	15.4	-	15.2	15.2	15.5	17.7	20	15.7	20.4	16.8	13.7



・県政世論調査より、「あなたは住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。」という質問に対し「はい」3.8%で24人、『どちらかといえば「はい」』が8.9%で75人、合計99人で全体の13.7%であり、R2は減少となった。

2 NPO法人認証件数

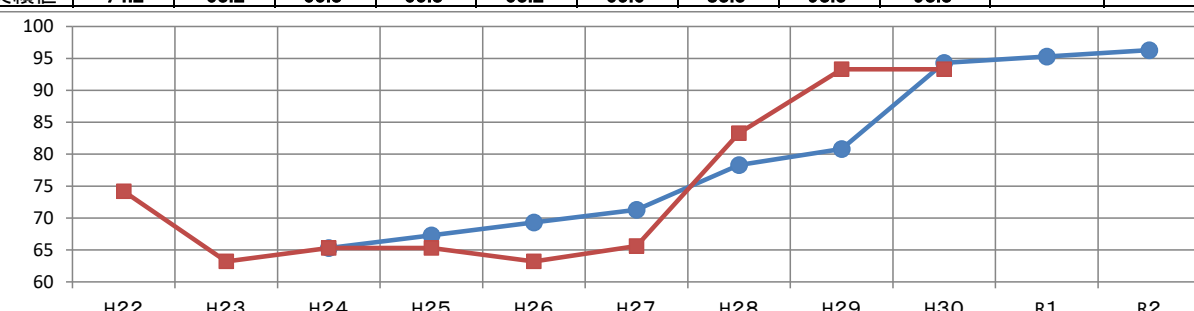
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			695	740	785	830	875	920	965	1,010	1,055
実績値	583	652	734	790	843	877	902	924	923	929	



・東日本大震災以降、認証件数は大幅に増加していたが、平成26年度をピークに、徐々に増加幅が縮小しており、令和元年度はほぼ横ばいとなった。これ以降は設立する法人と解散する法人が同程度のため、同水準で推移すると想定する
 ・NPO法人が自立的かつ継続的な活動ができるよう、引き続き、運営力の強化に向けた、各種情報提供等を行っていく必要がある。

3 インターンシップ実施校の割合(県立高等学校全日制・定時制課程)

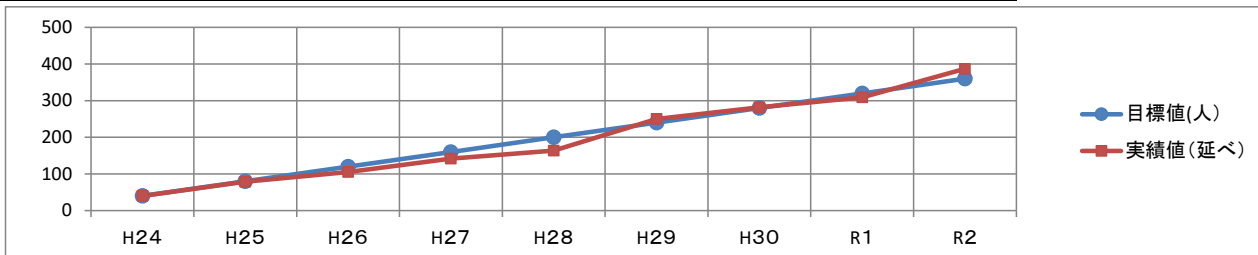
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			65.3	67.3	69.3	71.3	73.3	75.3	94.3	95.3	96.3
実績値	74.2	63.2	65.3	65.3	63.2	65.6	83.3	93.3	93.3		



・インターンシップ実施校の割合については、文部科学省国立教育政策研究所より発表される「職場体験・インターンシップ実施状況等」の本県の数値に基づいている。
 ・令和元年度の数値については、集計中のため公表待ちである。
 ・平成27年度までは、民間企業における就業体験のみをインターンシップとして位置づけていたが、医療機関における実習体験についてもインターンシップとして捉えるため、平成28年度から県教育委員会が実施している高校生が地域医療機関で実習体験に参加している生徒が加わることにより、平成28年度以降の実施率が増加している。

4 地域伝統芸能交流会参加児童生徒数

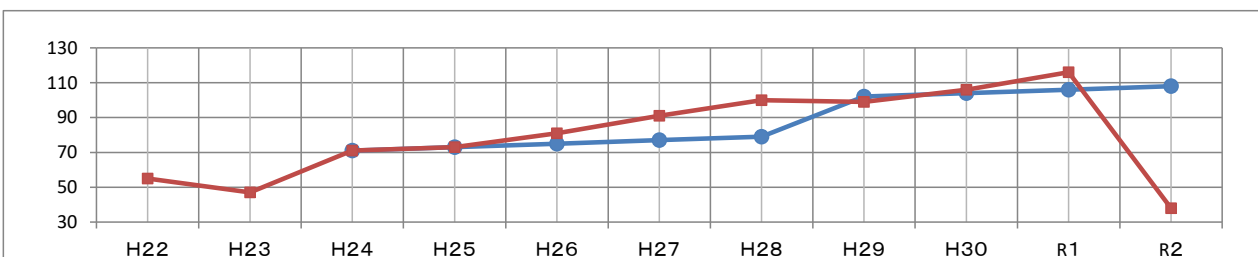
年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値(人)	40	80	120	160	200	240	280	320	360
実績値(延べ)	40	79	105	142	164	250	282	309	387
実績値	40	39	26	37	22	86	32	27	78



- ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、民俗芸能団体の元へ出向き、芸能披露の様子を撮影した映像を配信する形式での開催とした。児童・生徒参加団体の出演が増えたため、目標値を上回った。(出演20団体、うち児童・生徒参加8団体)
- ・児童・生徒に限定した事業ではないため、参加児童・生徒数は出演団体に左右される。
- ・公演事業(ふるさとの祭り)を活動の再開や継続の目標として位置づけ、サポート事業と一体的に民俗芸能の復活・発展に向けた支援を引き続き行っていく必要がある。

5 福島県芸術祭参加行事数

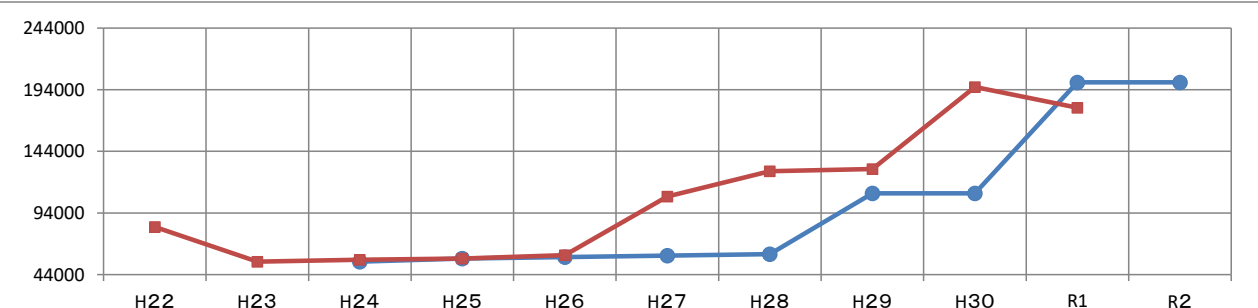
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			71	73	75	77	79	102	104	106	108
実績値	55	47	71	73	81	91	100	99	106	116	38



- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催予定行事の中止が相次いだため、参加行事数が大幅に減少した。
- ・参加行事数の回復に向け、引き続き、福島県芸術文化団体連合会等と連携を図り、各団体へ参加を呼び掛けることとする。
- ・より多くの県民や団体に参加してもらえるよう、芸術祭及び各団体の活動の更なる周知を行うことで芸術祭の認知度を高める必要がある。
- ・新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、各団体がウェブ配信を始めとした多様な媒体を活用した成果発表など新たな取組を検討・実践できるよう、取組事例を紹介していく。

6 県民カレッジ受講生数

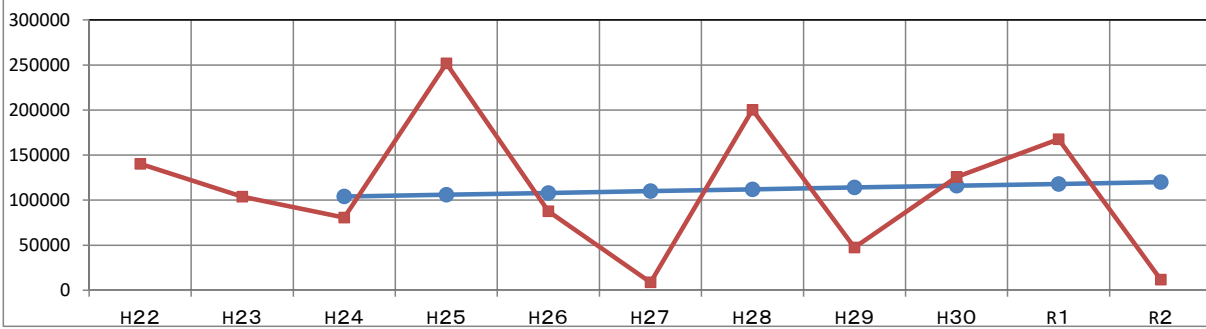
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			54,532	57,000	58,200	59,400	60,600	110,000	110,000	200,000	200,000
実績値	82,633	54,532	56,063	57,105	59,843	107,380	127,989	129,669	196,207	179,399	



- ・市内県民カレッジ連携講座受講者数 30,260人(前年37,217人)
- ・市町村連携講座受講者数 149,139人(前年158,990人) 合計179,399人(前年196,207人)
- ・県主催事業における県民カレッジ連携講座(受講者が一市町村に限らず、誰でも参加できる講座)については、開設要件を満たしているのか適正に判断し、実際の参加人数を計上している。
- ・令和元年度秋の台風、大雨被害、新型コロナウイルス感染症による各種講座の中止が減少した一つの要因であった。
- ・自然災害や感染症対策など、関係機関が工夫して取り組む講座を広報していかなければならない。各関係機関と連携し、講座の情報提供を行っていかねばならない。
- ・市町村連携講座においては、地域の現状に根差した各種イベントが開催されている。しかし、イベントの参加人数が多い場合、指標への影響が大きくなる。

7 県立美術館

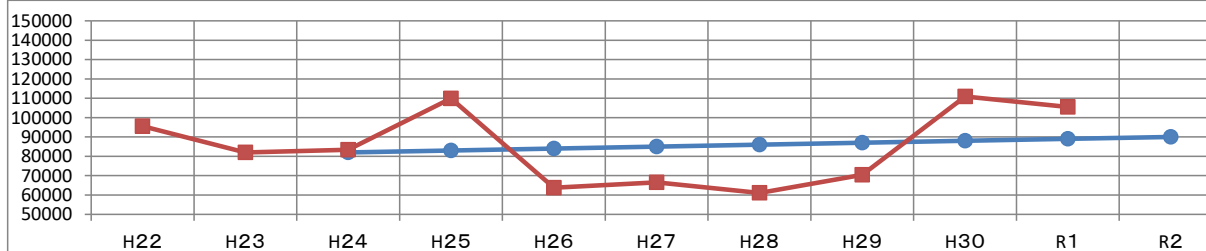
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			104,000	106,000	108,000	110,000	112,000	114,000	116,000	118,000	120,000
実績値	140,232	103,960	80,631	251,646	87,576	8,727	200,278	47,545	125,652	167,502	11,915



- 令和元年度は大規模企画展の開催により、年度別目標を達成した。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による外出自粛等の影響を大きく受け、さらに9月から年度末まで工事休館となり、入館者の確保が厳しかった。なお、今後も大規模企画展の開催を予定し、入館者数の増を図っていく見込みである。
- 入館者数はその年に開催される企画展によって大きく左右されるため変動が大きく、順調に増加するとは限らない。

8 県立博物館

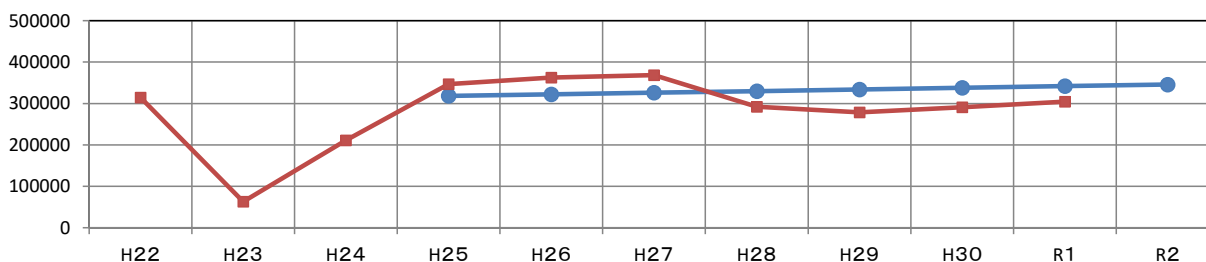
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			82,000	83,000	84,000	85,000	86,000	87,000	88,000	89,000	90,000
実績値	95,556	82,048	83,401	109,838	63,739	66,509	61,073	70,443	110,903	105,439	



- 令和元年度は企画展「興福寺と会津」の開催により、入館者数が伸び、目標値に到達することができた。しかし令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策による休館や外出自粛等の影響を大きく受け、入館者の確保が厳しい状況である。次年度以降については、世代を問わず楽しめるような企画展の開催を予定し、入館者数の増を図っていく見込みである。

9 福島県文化センター

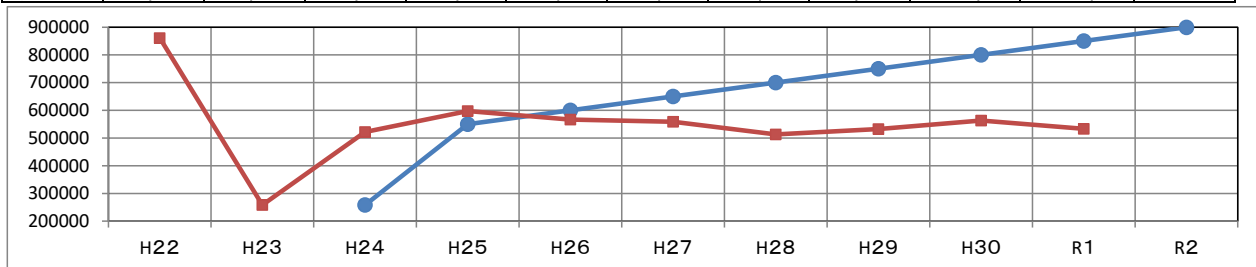
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値				318,300	322,200	326,100	330,000	334,000	337,900	341,800	345,800
実績値	314,413	62,929	211,000	346,873	362,520	368,552	291,940	278,775	291,212	304,275	



- 定期的なメンテナンスの他、施設老朽化の対応としてホールを休止して行う大規模改修工事(例:H28~H30)は、休館とせざるを得ないため、利用者減となる大きな要因である。
- 大規模な企画展や催し物があると利用者は増加するが、企画内容などによる。
- 施設の老朽化のため、今後も設備改修工事は実施する必要があるが、工事実施による休止期間をできる限り縮減するため、改修工事の同時施工など、工程を調整する必要がある。

10 アクアマリンふくしま

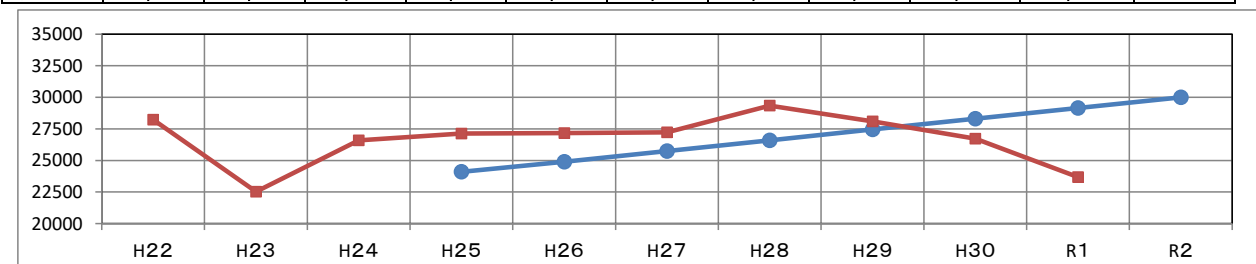
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値			258,244	550,000	600,000	650,000	700,000	750,000	800,000	850,000	900,000
実績値	861,326	258,244	522,269	597,302	567,069	558,630	512,894	532,256	563,517	533,459	



- 10月の台風等の自然災害や、3月以降の新型コロナウイルス感染拡大の影響により前年度に対し約3万人の減少となった。
- 令和2年度は開館20周年記念企画展を複数実施したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が依然として大きく、目標の達成は困難である。
- 震災・原発事故による入館者数の落ち込みの影響が未だに大きく、以前の水準を大きく下回っている。失われたシェアの回復に向け、魅力の向上や近隣競合施設との差別化などの取組みがより一層求められる。

11 文化財センター白河館

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
目標値				24,100	24,900	25,750	26,600	27,450	28,300	29,150	30,000
実績値	28,231	22,528	26,597	27,127	27,166	27,227	29,341	28,102	26,731	23,679	



- ・近年、郡山市や福島市に類似施設がオープンしたこと、加えて「コミュタン福島」などが開設されたことや、来館数における大きな割合を占める小学校等において、カリキュラムが過密になったことなどもあり、学校からの入館者数が減少している。また、社会情勢的にも団体旅行が減少傾向にある。
- ・新型コロナウイルスの流行により、第4四半期、特に3月の来館者数が減少している。この後も減少傾向は続くと思われる。
- ・魅力ある企画・イベントの実施やより充実した情報提供などサービス向上に努めていく。また、観光とのタイアップなども考えていく。